

英語（国語）科 学習指導案

1. 日時 令和4年10月3日（月） 第3時限（10：30～11：10）

2. 場所 中学部

3. 対象 中学部

4. 単元 Let's restart studying English（英語学習の再スタート）

5. 単元目標

- ・アルファベットの音に慣れる。
- ・簡単なあいさつを覚える。
- ・代名詞とbe動詞を使ったフレーズに慣れる。
- ・疑問詞疑問文を使った基本的な質問に慣れる。

6. 教材観

本単元は、中学部学習指導要領「外国語」の思考力、判断力、表現力における「身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養うこと」を中心として目標設定している。本教材では、英語が難しく感じている生徒が楽しく伝え合うことを目指す。

本単元の流れとしては、基本的なフォニックスを学習することで、これまでT-netや英語の授業で学習してきた、単語や表現の理解を深め、文字学習に対する難しさを和らげることを第一次としている。

単元の第二次としては、これまで表現学習や自己紹介で学習してきた、「I am ～」「It's ～」などの代名詞とBe動詞のフレーズをスライドや歌/チャンツで、繰り返しの学習を行い、理解し易く、使用し易いよう心がけた。特に、「He is ～」は男の人に、「She is ～」は女の人に使うことを、サザエさんやちびまる子などの家族のイラストを使って、クイズ形式で楽しく学習できるようにする。

単元の第三次としては、英語の場面学習でよく使用される「who」「what」「where」「when」「how」を「代名詞」や「Be動詞」を合わせ、1時間ごとに1つずつ学習することとした。それぞれの疑問詞を学習する教材に合わせて、スライドショーを使用したり、クイズ形式にしたりして興味関心を引き出すようにする。また、第一次、第二次で学習してきた、単音のフォニックスと子音・母音・子音のフォニックスに続けて、第三次では基本的な二重子音と二重母音のフォニックスを学習し、読むことができる単語を増やしていく。

7. 指導観

英語が苦手と嫌いだと宣言している生徒が多い。そのため、「難しくない」「楽しい」授業になるよう基本的な教材を繰り返し学習することとし、また、視覚教材やゲームを使用することで、理解しやすく興味関心を持ちやすいよう工夫した。特に、文字学習には苦手意識を持っている生徒が多いので、視覚教材を使用しながら、口頭でのみの学習を繰り返し学習して、文字を書く学習は名前や単語などを宿題で取り組むことだけに留めた。

英単語が読めない、読むのが難しい生徒たちに向けて、アルファベットの読み方学習＝フォニックス学習が不可欠であると考えて、アルファベットの一文字一文字の発音を学習したうえで、単語の中での発音

を学習している。現在は二重子音を学習していて、今後二重母音なども学習する予定にしている。

T-net で学習してきた自己紹介などでも使用した内容を復習しながら、教えてもらって使ったことのあるフレーズを、少しずつ自分で使えるフレーズにしていくことができるよう、繰り返し学習を行う。

アルファベットの発音学習＝フォニックス学習においては次のような流れで、繰り返し時間をかけて学習して、随時、確認テストを行うことで、生徒がテストに向けて集中して学習できるようにしている。

- ①大文字アルファベットを使用した単音フォニックス練習②小文字アルファベットを使用した単音フォニックス練習③子音・母音・子音の3音フォニックス練習 (ex. pen, dog) ④二重子音 (ex. check, fish) ⑤二重母音 (ex. rain, tea)

単語カードにはイラストがあり、それを見ながら楽しく覚えていくことができるように配慮している。英文学習に関しては、決まったフレーズをジェスチャーなども使用しながら、何度も繰り返し口頭練習することにした。

また、クイズにおいては、聞き取りや集中力など、個人差が大きいので、小グループに分かれ協力して、自信を持って答えを出すことができるよう配慮した。また、そのことを通して、グループで助け合いコミュニケーションの力を伸ばす機会になることを目標とした。

8. 単元の評価基準

A 知識および技能	B 思考力・判断力・表現力など	C 主体的に学習に取り組む態度
①アルファベットの発音（フォニックス）や日常のあいさつの音と意味を理解している。 ②be 動詞と代名詞のフレーズを使うことに慣れている。 ③疑問詞疑問文に対する答え方に慣れている。	①会話のキャッチボールをすることができる[聞く・話す] ②場合に応じて質問をすることができる[聞く・話す] ③相手に分かり易いよう、伝え方をすることができる[聞く・話す] ④イラストから読み取り、情報を言葉にして伝えることができる。[聞く・話す]	①指導者や友だちの話に意識を向けている。 ②相手に分かり易いよう伝えようとしている。 ③友だちの話聞くことができる。

9. 単元の指導と評価の計画（全20時間、本時は15時）

時数	学習内容	評価基準		
		A 知識および技能	B 思考・判断・表現	C 主体的な態度
5	クラスルーム英語、フォニックス（単音）	①	①④	①②
5	あいさつ表現、フォニックス（子音母音子音）	①	①④	①②
3	代名詞と be 動詞、フォニックス（二重子音）	①②	①②	①②
2	Who is he? フォニックス（二重子音）	②③	①②③④	①②③
2	What is it? フォニックス（二重母音）	②③	①②③④	①②③
1	Where is New York? フォニックス（二重母音）	②③	①②③④	①②③
1	When is your birthday? フォニックス（二重母音）	②③	①②③④	①②③
1	How is the weather? フォニックス（二重母音）	②③	①②③④	①②③

10. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・フォニックス学習により、英語の発音に慣れる。
- ・代名詞と be 動詞のフレーズに慣れる。

- ・疑問詞 who を使って人を尋ねることに慣れる。

(2) 本時の評価基準

- ・Who を使って、質問したり、答えたりすることができる。
[知識および技能]
- ・会話のキャッチボールをすることができる。
- ・場合に応じて質問をすることができる。(「Who is he?」「Who is she?」
[思考・判断・表現]
- ・指導者や友だちの話に意識を向けている。
- ・相手に分かり易いよう伝えようとしている。
- ・友だちの話を聞くことができる。
[主体的な態度]

(3) 本時で使用する教材・教具

- ・ホワイトボード、TVモニター、iPad、絵カード

(4) 本時の学習の流れ(40分)

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点 支援の手立てなど	評価基準など
5分 あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> ・始まりのあいさつ ・出席確認 ・本時の学習内容確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を始める態勢ができていないか確認する。 ・日直に号令をかけるよう伝える。 ・大きな声であいさつするよう言葉かけを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に向けて、休み時間から気持ちの切り替えが行えている。 ・大きな声であいさつができていない。
10分 復習	<ul style="list-style-type: none"> ・スライドショーを見ながら、前回学習した発音練習を行う。 [フォニックス(二重子音)] ・起立してジェスチャーを交えて代名詞とbe動詞の一連の文章を練習する。 [I am happy. You are happy. He is happy. She is happy. We are happy. They are happy. It is happy. They are happy.] 	<ul style="list-style-type: none"> ・TVモニターにスライドショー形式で既修の発音練習用のイラストを映す。 ・大きなジェスチャーをして見せる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者の説明を集中して聴くことができる。 ・代名詞とbe動詞を使った文章の練習を声をだして行うことができる。
10分 導入	<ul style="list-style-type: none"> ・スライドショーでWho(誰)をつかった新出表現を学習する。 [Who is he? Who is she?] ・絵カードで復習して、理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理解が難しそうときは、随時説明を加えて、理解しやすいように工夫する。 ・Who is he?は男性について、Who is she?は女性について尋ねる時に使うことが理解できているか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Who is he?は男性について、Who is she?は女性について尋ねる時に使うことが理解できている。
10分 展開	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者の説明を聞き、新出表現の質問をしたり、その質問に答えたりする。 ・絵カードを1枚選んで、whoを使って質問する。 ・クラス対抗クイズ形式で、Who is he? 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルーレットで順番を決めて、ゲームのように楽しむことができるようにする。 ・難しそうにしている場合は指導者が支援して正答に導く。 ・男の人にはWho is he?を使い、女の人には 	<ul style="list-style-type: none"> ・Who is he?やWho is she?の質問に対して、答えることができる。 ・自信を持って発表するために、友だちと話し合って答え

	<p>と Who is she?の練習をする。</p> <p>①He is funny. He is a PE teacher. He is in Fukuoka. Who is he?</p> <p>②She is a science teacher. She is a Japanese teacher too. She is a class 1 teacher. Who is she?</p> <p>③He is tall. He is from Okinawa. He is a class 2 teacher. Who is he?</p>	<p>Who is she?使って尋ねることを練習したことを確認し、3つのクイズを出題する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各生徒の理解力の違いを考慮し、一文ずつ訳す。 クラスでコミュニケーションを取り、自信を持って解答できるようにする。 	<p>を出すことができる。</p>
5分 まとめ あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> 当番が号令をかける。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習した内容を確認する。 大きな声で号令をかけるように伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の振り返りができる。

11. 教室配置

